

宮崎市立木花小学校

事業の実施時期：補助を受けた日から令和5年3月8日

活動の概要

全校児童の取組については、委員会活動や学級での日常指導を中心として取り組んできた。各委員会の常時活動をSDGsの視点からも意識させたり、学級でもごみの分別、残食を少なくするなどの活動を通して意識付けを図った。また、3年生以上の学年については、総合的な学習の時間の中でのテーマ学習にSDGsの視点を取り入れ、関連させながら活動を進めてきた。ふるさと「木花」をSDGsの視点からも捉えたり、地域人材も活用しながら活動を推進してきた。

SDGsの視点：3「すべての人に健康と福祉を」11「住み続けられるまちづくりを」

1 学校の概要

木花小学校は、明治36年2月に今江小学校と加江田小学校を合併して、木花尋常小学校と改称し、今年で創立120年を迎える学校である。本校は宮崎市の南部に位置し、北東に日向灘を臨み、南から西側には樹鉢（くんばち）山や双石（ぼろいし）山などの山々が広がっている。校区には清武川、加江田川等が流れ、海・山・川と自然環境に恵まれた場所にある。特に、清武川と加江田川河口に2kmにわたって広がる木崎浜海岸は、有名なサーフスポットとして知られている。加えて本校の近くには、宮崎県のスポーツの拠点である宮崎県総合運動公園があり、スポーツランド宮崎の中心ともなっている。また、農業もさかんな地域でもあり、早期米やいちご栽培などに取り組む農家も多くみられる地域である。

2 活動のねらい

学校での学習の中で、SDGsのことを意識し「持続可能なみやぎづくり」のためにどんなことができるかを考え、環境に関する学習をし、自分たちができることを進んで実践しようとする児童を育成する。

3 活動内容

(1) 総合的な学習の時間をSDGs、4Rの視点から捉えた指導

本年度、本事業を進めるにあたって、総合的な学習の時間の各学年のテーマについて、SDGs、4Rの視点から見直し、関連付けた指導を行うようにした。

【各学年のテーマとSDGs・4Rの視点】

3年	木花のひみつにせまろう（地域を知る）
	○木花の自慢できる場所を調べよう・自慢できるものを探そう(SDGs 11) ○木花のために何ができるか考えよう(SDGs 11) ○木花の自慢できるものを作ってみよう(SDGs 9) ・木花夏祭り(木の花サポーターズネット) ・木花相撲踊り(人木花相撲踊り保存会)
	木花の「人とのふれあい」について調べよう(共に生きる)

4年	○木花安全マップを作ろう(SDGs 3. 10. 11) ○みんなにやさしいまちづくり(SDGs 3. 5. 10. 11) ・福祉体験(SDGs 3. 5. 10. 11) 宮崎市福祉協議会 ・5R学習(SDGs 3. 10. 11) みやぎエコの会
5年	地域の方々に学ぼう ○米づくりから学ぼう(SDGs 9) ○稲刈りをしよう(SDGs 9) ・米作り(JA南宮崎・木花青年部) ○地震・津波から命を守ろう ・木崎浜を知ろう(SDGs 13. 14. 15) 青島青少年自然の家(宿泊学習時) ・外所地震について知ろう(SDGs 11. 13)
6年	木花の学習をまとめよう「知っているよ、『木花』のこと」 ○木花について詳しく知ろう ・木花マップづくり(SDGs 3. 10. 11) ○地域のためにできることをしよう ・フォトフレームづくり～木崎浜のシーグラスを使って(SDGs 11. 14) 宮崎国際大学学生 ・アクリルたわしづくり(SDGs 11) 木花婦人会

以上のように見直し、本年度の指導を行った。

(2) 指導内容

① 3年生の実践

3年生は、「木花のひみつにせまろう（地域を知る）」をテーマとして学習を進めた。SDGs 11の視点をもって学習を進めるようにした。1学期の学習では、「木花の自慢できるもの」というテーマで、自分たちの知っている「木花の自慢」について出した。児童から「木花夏祭り」「木花相撲踊り」が「自慢」として出され、それらの運営・伝承に関わる方々を講師として招き、学習を進め、地域の素晴らしさについて知ることができた。ここでは、SDGs 11と関連付け、「わたしたちのふるさと『木花』」を大切にしたいという意識をもたせるようにした。また、「木花夏まつり」の主催者の方を講師として招き、空き缶回収など

を行っていることを知り、4Rについての意識も高めさせた。

② 4年生の実践

4年生は、「木花の『人とのふれあい』について調べよう（共に生きる）」というテーマで学習を行った。「木花安全マップを作ろう」というテーマ学習では、児童は実際の地域探検に一人一人タブレットをもち、フィールドワークを行い、地域の安全についてSDGs 3、11などの視点から地域の安全について考えた。「みんなにやさしいまちづくり」のテーマ学習では、宮崎市福祉協議会の方を招き、福祉体験を行い、SDGs 3、5、10、11を意識させた。また、5R学習として、みやざきエコの会の方を講師として招き、5Rについての学習を行い児童の意識を高めた。

また、4年生は、社会科の学習と関連付けて「エコクリーンプラザ宮崎」の見学に行き、環境教育についての理解を深めた。

③ 5年生の実践

5年生は、「地域の方々に学ぼう」というテーマで学習している。木花地区では、早期米の栽培も盛んであり、学校周りには水田もたくさんある。また、木花地区は1662年（江戸時代）に「外所（とんどころ）地震」が発生し、地震・津波により大きな被害を受けた地域でもある。そこで、5年生は「産業」「防災」を中心としたテーマになっている。1学期には、JA南宮崎及び木花地区の青年部の方を講師として招き、学校近くの田で田植えの体験活動を行うとともに、米作りについて学習した（収穫作業は新型コロナの影響で中止）。また、SDGsと2学期に学習する「地震・津波から命を守ろう」の単元と関連付けて、集団宿泊学習（青島青少年自然の家で実施）のプログラムの中に、「浜リンピック」を取り入れ、私たちの故郷「木崎浜」での活動を行った。この活動を通して、自分たちの地区の「木崎浜」を大切にしたいという意識をもつことができた。

④ 6年生での実践

6年生は「木花の学習をまとめよう」～「知っているよ、『木花』のこと」～を年間のテーマとしている。3年生から5年生までの学んできた「木花地区」のことについての学習を生かして学習を進めていくようにしている。1学期の単元「木花マップづくり」では、SDGsの視点から地域のマップ作りの探求学習を進めた。ここでもタブレットを活用し、児童は主体的に学習することができた。また、2学期には、「フォトフレームづくり」を宮崎国際大学の学生を講師として招き、木崎浜のシーグラス（長い年月をかけて角が取れて丸くなったガラス、漂着ごみとして環境問題にもなっている）を使ってフォトフレームづくりに取り組んだ。ごみの再利用にもつながるとともに、木崎浜をきれいにしたいという思

いをもつことができた。

(2) 全校での取組

① 学級でのごみの仕分けの徹底

これまで、学級にはごみばこが一つだけ設置してあったが、本年度は「もえるゴミ」「プラスチックごみ」用の2種類のごみ箱を設置し、児童にごみを出すときに意識付を行うようにした。

② 委員会での取組

保健・給食委員会では、給食時間の後始末の時に、「残菜・プラスチックごみ・牛乳パック」などに仕分けして回収することをさらに意識させるようにした。これまでも行ってきていたが、4Rを意識させるとともに、委員会児童の意識や全校児童のごみの分別への意識も高まった。

放送委員会では、給食の時間に食材紹介と感謝の気持ちをもつこと、また、「残さず食べましょう」という放送を行い、残食をしないことの意識を高めた。ここでも、4Rへの意識付けを行った。同時に、夏の時期には昼休み前に「暑さ指数」に関する放送を行い、熱中症予防を呼びかけるとともに、児童の環境に目を向ける意識を高めた。

生活委員会では、落とし物用の展示机を設置し、児童の校舎内外での落とし物を常時提示して、落とし物をなくすことや、物を大切にすることを意識を高め、4Rの意識の向上へとつなげた。

4 成果と課題

(1) 成果について

- 本事業を受け、総合的な学習の時間のテーマをSDGsの視点、4Rの視点から見直したことで、教師・児童の意識付けにつながるとともに、地域人材と連携した活動を行うことができた。
- 委員会活動など、日常活動をSDGs・4Rの視点から捉えなおしたことで、自分たちのこれまでの活動は持続可能なみやざき作りにつながっているという意識をもたせることができた。

(2) 課題について

- 本年度1年間をかけて取り組み、SDGs・4Rへの意識は高まってきたように思うが、実践態度の習得については今後も継続的に呼びかけ、賞賛を行いながら定着させていく必要がある。
- 本年度は、総合的な学習の時間や委員会活動を中心に取り組んできたが、他教科への広まりや、学級内の係活動等への広まりを考え、いつでもどこでも実践できるようにしていくことが必要である。

学校名： 宮崎市立木花小学校

住所： 宮崎市熊野 10956 番地

電話番号： 0985-58-0007

E-mail： kibana-s@mcnet.ed.jp